

目 次

第1部／報 告

夫婦の役割とその背景	湯沢 雍彦	1
I まえおき		1
II 人生の中の夫婦期間		2
III 配偶者としての役割		5
(1) 夫婦相互の役割期待		5
(2) 役割の現実認識		8
IV 生活時間からみた夫婦像		10
(1) 4組の夫婦の暮らしぶり		10
(2) 生活時間調査による検討		16
V 夫婦の情緒的役割		20
(1) 行動にみる非一体性		20
(2) 望まれる性格特性		25
VI 親としての役割		28
(1) 見えない父といすぎる母		28
(2) 母子家庭・父子家庭		31
VII 伝統的夫婦役割への疑問		33
(1) 夫は必要か		33
(2) 役割分業の見直し		36
(3) 新しい動き		38

第2部/座談会

夫であること・妻であること42

出席者 湯沢 雍彦 ヤンソン由実子
杉田 弘子 山村 賢明
司会 青井 和夫

1. メイン・レポートの要約.....43
2. 夫婦分業の歴史的回顧.....45
国によってちがう 46 階級階層によってもちがう 48 社交形式のちがひ 49 生活パターンのちがひ 50 産業化と性別分業 52
吟遊詩人と女性崇拜 54
3. 男女関係の現状.....56
女性の側にも現状打破と現状肯定がある 56 個人中心か夫婦中心か
58 外国の男女関係 59 就業と家事育児の問題 62 ザインかゾ
ルレンか 63 世代差もある 65
4. 親子関係と夫婦関係.....66
親子中心の日本 66 子はかすがいか 68 離婚の新しい傾向 70
時間をもてあましている主婦 71 労働時間の一家割当制 73 日本
の男はなぜ働き蜂なのか 74 家族を入れない慰安旅行 75 全員一
致と多数決 76
5. 日本の夫婦は一体性に乏しいか?.....78
男性と女性のちがひ? 78 コミュニケーション観のちがひ 80 だ
が日本夫婦も変わりつつある 81 独身文化 84
6. 夫は不要か?.....85
スウェーデンでは? 86 結婚の意味・離婚の意味 87 父親イメ
ージ 89 母子関係が強すぎる? 91
7. これからどうすべきか?.....93
労働時間の短縮が先決条件 94 女性も社会に出よ 94 家事と就業
の両立を 95 社会のしくみを変えねばならない 96 良妻賢母型の
変貌 97 妻が外に出るようになれば、それに応じて生活構造も変わる
98 それを実証するもの 100